

## ふれあい沼津ホスピタルNEWS

ふれあい沼津ホスピタルは静岡県東部にある、精神科・心療内科・内科を標榜する医療施設です。ベッド数は293床で、精神一般病棟 60床・認知症治療病棟 119床・精神療養病棟 114床となっております。MRIや脳波計・心電計・X線装置などの検査機器を備え、精神疾患や認知症などに様々な角度からアプローチ致します。

## 医療社会サービス室



医療社会サービス室内風景



相談スペース

精神保健福祉士として、人との関わりは常に求められる。入院相談時から、我々精神保健福祉士と人との関わりが始まる。本人の精神症状を理解することは勿論、家庭環境や現場の雰囲気などその他要因も含めた状況を理解し、何に困っているのか想像することが大切である。入院時から退院までの計画を立てていくが、本人の精神疾患・身体疾患・生活環境等を踏まえどのように退院に繋げていくのか、それが本人にとって最善策なのか、ビジョンを明確にしていく。

医師・看護師・その他職員と連携し、退院までの支援を行う。今後地域に戻る上で、本人と入院前の振り返りやそれに対する対処法を自身で考えていけるようにアドバイスをしていく。家族や関係者の理解が必要となる場合には、話し合いの場を設けることや家族教育を行っていくこともある。他機関に相談したり、必要時にはサービスや制度を利用し関わり手を増やしていくことも求められる。単に退院に繋げていくだけでなく、地域側と連携を図り医療から地域に徐々に移行していくよう取り組んでいる。

精神保健福祉士 佐野 洋介

## 3階病棟

3階病棟は60床を有する認知症治療病棟で高齢者が多いため、日々患者様の安全確保に努めています。

今回は多くのリスクが潜んでいる、食事中の安全確保を考慮した「嚥下体操」の取り組みについて紹介します。

「嚥下体操」は ①安全に食事をする  
②嚥下機能の改善と低下予防  
③食べるという動作の意識向上

を目的とし、毎週水曜日の昼食前に実施しています。

作業療法士の有藤さん進行のもと

- ・深呼吸
- ・首の回旋や前後屈等、首の運動
- ・「あいうえお」「ぱんだのたから」などの言葉の音を利用した発声練習

これらを病棟スタッフが患者様に付き添い、全員で行います。

これにより、食べる為に必要な筋肉を鍛えたり、唾液の分泌を促し食事摂取の準備を整え、食事をスムーズにとりやすくすることができます。食べることはQOLの向上に重要な要素です。

今後も食事を美味しく安全にとって頂けるよう支援の継続に努めていきます。



精神科作業療法



3階病棟風景



ふれあい沼津ホスピタルの臨床心理室は、常勤の臨床心理士2名が所属しています。病棟だけでなく、クリニックの仕事もしておりますので、外来の患者様・ご家族様ともお会いすることがあるかと思えます。

臨床心理室の主な仕事は、各種心理検査・カウンセリング・初診の患者様のカルテづくりのためにお話をうかがうことなどです。患者様のお役にたてるよう、様々な技法や、新しく開発された検査も、積極的に取り入れております。

## デイケアセンターあゆみ橋

当施設は、メンタルクリニックあゆみ橋付属の精神科リハビリテーションの施設です。主にうつ病によって休職中の方が職場復帰するための「リワークプログラム」を実施しています。

「職場復帰」が目標ではなく、「再発せずに安定して働き続ける状態」を最終目標として頂けるよう、「セルフケア」「再発予防」のための知識を習得し、実践していけるようなプログラムを取り組んで頂いています。

### <実施プログラムの内容>

- ①レクチャー：各種知識を深め、再発予防に繋げていくことを目的としています。
- ②エクササイズ：心身の安定をはかる、基礎体力の向上、身体活動の活性化を目的としています。
- ③グループワーク：復職に向けての対人交流の練習、意見交換、場や人に慣れる、緊張の緩和を目的としています。

☆説明・見学は随時受け付けております。  
まずはお電話でお問い合わせください。

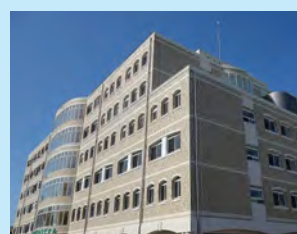
☆あゆみ橋デイケアセンター TEL:055-954-2728



リワークプログラムの風景



あゆみ橋デイケアセンター



医療法人社団 静岡康心会  
ふれあい沼津ホスピタル

TEL 055-962-3530

FAX 055-962-3531

URL <http://www.fureai-g.or.jp/senbon-hp/>

E-mail [info-sbn@fureai-g.or.jp](mailto:info-sbn@fureai-g.or.jp)